

第7回

生ごみリサイクル交流集会 in 多摩 2015

生ごみを地域で活かそう！
地域の資源循環ネットワークをつくろう！

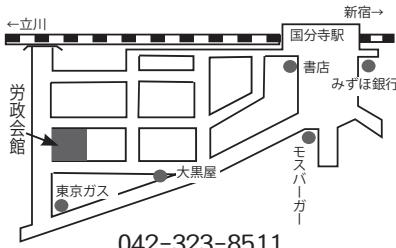


6月13日(土)
13:30~16:30

国分寺労政会館

■ 4階・第5会議室

中央線・西武線 国分寺駅南口徒歩5分



042-323-8511

真如苑助成金事業

主催 NPO法人 ごみ・環境ビジョン21

「生ごみリサイクル交流集会実行委員会」*

*多摩地域各地で活動している市民で構成

NPO法人 ごみ・環境ビジョン21

〒185-0012 東京都国分寺市本町2-19-9-7

TEL&FAX 042-328-6621 月曜日 13~17時

★上記開所時間以外の連絡先 080-6670-6641 (江川)
080-1131-6205 (井上)

Eメール : gomikan@mtf.biglobe.ne.jp

生ごみ分別収集をしたり、計画を立てている行政が増えてきました。市民レベルで生ごみを資源活用している団体も地域に広がっています。

都市部での生ごみ堆肥化は難しいと考えられていますが技術革新も進み、ごみの資源化の実現への道すじが見えてきました。市民と行政が連携し、ネットワークを構築していくことで生ごみ資源循環の環を地域に広げていきましょう。

資料代：500円

申し込み不要。
直接会場へどうぞ！

逗子市

生ごみが減れば
地域が変わる



逗子市資源循環課長
石井義久さん

家庭ごみの中で最も多い生ごみ。生ごみの問題を解決すればごみ行政は大きく変われます。

事業系生ごみの排出を規制し、商業地の美化が進みました。家庭での排出抑制にも力を入れて取り組んでいます。

武蔵野市

武蔵野市における
生ごみの
拠点回収・堆肥化



クリーンむさしのを推進する会
志賀和男 さん*今木仁恵 さん

武蔵野市では「官・民1ヵ所」「民・民3ヵ所」の生ごみの拠点回収とその堆肥化を進めており、全く違った内容の取り組みとなっています。そこで、この4つの事例について報告してもらいます。

東大和市

自家製の
竹パウダーで
生ごみ減量・堆肥化

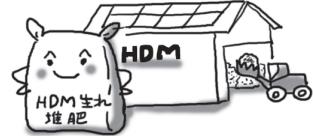


NPO法人 東大和ごみレスクラブ
内野真奈美さん

市内の竹を粉碎して竹パウダーを作り、それを基材にしたダンボールコンポストを始め、さまざまな方法による生ごみ減量・堆肥化の普及に取り組んでいます。講習会によって実践者も増えています。

事業者

HDMシステムによる
生ごみ処理の
現状と展望



(株) 熊谷清掃社代表取締役
西野則幸さん

立川市

生ごみの分別を通じて
結束した
地域コミュニティ



立川市大山自治会前会長

佐藤良子さん

立川市ごみ対策課ごみ減量推進係長
鎌田純文さん

平成26年8月から立川市大山自治会の約1470世帯でスタートした「生ごみ分別・資源化事業」。

この取り組みを通じて得られた財産は、ごみ減量への意識向上だけでなく、会員同士のふれあいです。

HDMシステムは、微生物を利用して生ごみの減容化処理を行うシステムで、24時間で90%以上の減容をほぼ無臭・低コストで実現しています。このシステムのパイオニアから直接お話を伺います。